

とくなん けんた

徳南 堅太 先生

■生年月日 1987年8月17日

■出身地 福井県池田町

■出身校 今立郡池田町立池田中学校-

武生商業高等学校 -

(現:武生商工高等学校)

日本体育大学



プロフィール

中学校3年生まで剣道に取り組み、高校1年生からフェンシング競技を始める。フェンシングの強豪校であり、体育教員の資格取得を目指せる大学に進学し、本格的に競技に取り組み、大学4年時のインカレで優勝。同年日本代表選手に選ばれ、2016年リオデジャネイロ大会へ出場し、続く2021年に開催された東京2020大会と2大会連続での出場を果たす。現在も現役を続けながら、講演会やスポーツイベント等に積極的に参加し、後進の育成や競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2016年 リオデジャネイロ大会 サーブル個人 出場

2021年 東京大会 サーブル団体 出場

<国際大会>

2014年 アジア選手権大会 サーブル団体 2位

2018年 アジア選手権大会 サーブル団体 3位

<国内大会>

2011年・2018年 全日本フェンシング選手権大会 サーブル個人 優勝

2021年 全日本フェンシング選手権大会 サーブル個人 2位

フェンシング

フェンシングは、2人の選手が対峙し、片手に持った剣を使って相手の有効な面を攻防する競技です。このスポーツには「フルーレ」「エペ」「サーブル」の3つの種目が存在します。各種目では、使用される剣の形状や得点が有効な面、優先権の有無などが異なり、競技はピストと呼ばれる導電性のパネル上で行われます。



写真: JOC:ロイター/アフロ:青木紘二/アフロスポーツ

引用:JOC資料



かいほり

海堀 あゆみ 先生

■生年月日 1986年9月4日

■出身地 京都府長岡京市

■出身校 長岡京市立長岡第三中学校 - 京都府立乙訓高等学校 -

慶應義塾大学



プロフィール

小学2年生からサッカー競技を始める。高校3年時、女子U-19日本代表選手に選ばれ、2008年北京大会に出場、4位入賞の成績を収める。2011年FIFA女子ワールドカップでは、ゴールキーパーとして優勝に貢献、決勝戦のMVP並びに大会優秀選手に選ばれる。2012年ロンドン大会への2大会連続出場を果たし、銀メダルを獲得。引退後、2020年から佐賀県みやき町スポーツ政策ディレクターを務め、地域と連携した女子サッカーの街を目指す活動に携わる。現在はWEリーグのコミュニティオーガナイザーとして、競技の普及に合わせ、選手のキャリアサポート等にも取り組んでいる。2023年なでしこリーグ理事に就任し、女子サッカーの普及と発展に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2008年 北京大会 4位

2012年 ロンドン大会 銀メダル

<国際大会>

2010年 アジア競技大会 優勝

 2011年
 FIFA女子ワールドカップ
 優勝

<国内大会>

2010年~2015年 全日本女子サッカー選手権大会 優勝 5回

2011年~2013年 日本女子サッカーリーグ1部 優勝

サッカー

1チーム11人ずつで、ボールを相手ゴールに入れて点数を競う競技。ボール1 つあればプレーできるため、ヨーロッパ、南米、アジア、アフリカ等大陸を問わず、世界中で広く楽しまれています。ゴールキーパー以外は手でボールを扱うことができないため、ボールを操る足技、相手ディフェンスをかわして相手ゴールへとボールを運ぶチームワーク、相手チームの攻めを防ぐ戦術等が見どころとなります。





たかはし なるみ

高橋 成美 先生 【スケート/フィギュアスケート】

■生年月日 1992年1月15日

■出身地 千葉県松戸市

■出身校 松戸市立新松戸北中学校 -

(現:松戸市立小金中学校)

NHK学園高等学校-

慶應義塾大学



プロフィール

3歳からフィギュアスケート競技を始め、12歳からペア種目に取り組む。2007年から練習拠点をカナダに移す。2011年ISUグランプリに於いて、日本スケート史上初めてペア種目でファイナル進出を果たす。同年世界フィギュアスケート選手権大会3位入賞。2014年ソチ冬季大会へ出場し、団体5位入賞に貢献する。2018年に現役を引退。現在は、JOC評議員、JOCアスリート委員、日本オリンピアンズ協会理事を務めながら、テレビ出演や講演会、スポーツイベント等に積極的に参加し、競技の普及や後進の育成に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

 2014年
 ソチ大会
 ペア
 出場

団体 5位

<国際大会>

 2011年
 世界ジュニアフィギュアスケート選手権大会
 ペア
 3位

 2012年
 世界フィギュアスケート選手権大会
 ペア
 3位

<国内大会>

2008年~2014年 全日本フィギュアスケート選手権大会 ペア 優勝 6回

スケート/フィギュアスケート

フィギュアスケートはスケートの種別の中で唯一得点により順位を競う競技です。男子シングル、女子シングル、ペア、アイスダンスの4種目に分けられ、それぞれ決められた時間の中でショートプログラムとフリープログラム(アイスダンスはショート・ダンス、フリー・ダンス)を音楽に合わせて演技し、ジャッジにより採点されたその得点により順位が決まります。





とべなおと

戸邉 直人先生

【陸上競技 走高跳】

- ■生年月日 1992年3月31日
- ■出身地 千葉県野田市
- ■出身校 野田市立第二中学校 -専修大学松戸高等学校 -

筑波大学-筑波大学大学院



プロフィール

小学校5年生から陸上競技の走高跳種目を始める。高校3年時、インターハイ・国体・日本ジュニア陸上競技選手権大会に於いて3冠を達成し、日本陸上競技選手権大会では通算4回の優勝を誇る。2018年アジア競技大会で3位、2019年にドイツで開催されたIAAFワールド室内ツアーで2m35cmを跳び日本記録を更新。2021年に開催された東京2020大会へ出場し、日本人選手として49年振りの決勝進出を果たす。現在も競技を続けながら、JOCアスリート委員や日本陸上競技連盟アスリート委員会委員長を務めると共に、2026年に愛知県及び名古屋市で開催される第20回アジア競技大会組織委員会アスリート委員として、運営にも携わりながら競技の普及に尽力している。

主な成績

<オリンピック競技大会>

2021年 東京大会 13位

<国際大会>

2018年 アジア競技大会 3位

2019年 アジア選手権大会 3位

 2019年
 IAAFワールド室内ツアー
 総合優勝

<国内大会>

2021年 日本室内陸上競技大会 優勝

2011·2015·2019·2021年 日本陸上競技選手権大会 優勝

陸上競技/フィールド

陸上競技でトラックの内側や外側で行われるフィールド競技は、 「跳躍」と「投てき」の2つに分けられます。「跳躍」は、走高跳、 棒高跳、走幅跳、三段跳の4種目で、跳ぶ高さや距離を競い、「投 てき」は、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投の4種目で、手で 投てき用具を遠くへ投げ、その距離を競います。



写真: JOC:ロイター/アフロ:長瀬友哉/フォート・キシモト